

# Transfer



## User Manual

For version **1.1**

## 法律情報

このマニュアルは、著作権法により保護されています。Elektron Music Machines Japan K.K. による書面による許可のない転載および配布はいかなる場合でも禁止します。このマニュアルの内容は情報提供のみを目的としています。予告なしに変更されることがあり、Elektron Music Machines Japan K.K. の責任を約束するものではありません。Elektron Music Machines Japan K.K. は、このマニュアルに存在する誤りまたは不正確な情報に対して責任または義務を負いません。また、契約、過失、またはその他の行為に関わらず、この情報の使用または実施に伴って生じる、特別な、間接的な、あるいは結果として生じる損害または、使用、データ、または利益の損失から生じる損害に対する責任を負いません。

Elektron Music Machines Japan K.K. またはその使用許諾者は、知的財産権を含む Overbridge およびそのすべての、Analog Keys、Analog Four、Analog Rytm および Analog Heat、および対応するプラグインと、将来の Overbridge アプリケーションおよび機器を含むソフトウェアおよびハードウェアコンポーネントに対するまたは関連する、特許、著作権、デザイン、商標、および取引上の機密事項を含むがこれに限定されないすべての権利を保持します。

---

## 目次

---

<b>1. はじめに</b> .....	<b>4</b>
<b>1.1 ELEKTRON TRANSFER について</b> .....	<b>4</b>
<b>1.2 対応する Elektron 機器</b> .....	<b>4</b>
<b>1.3 システム要件</b> .....	<b>4</b>
1.3.1 コンピューターのオペレーティングシステム .....	4
1.3.2 コンピューターのハードウェア要件 .....	4
<b>1.4 TRANSFER をインストールする</b> .....	<b>4</b>
1.4.1 WINDOWS .....	4
1.4.2 MAC OS X .....	5
<b>1.5 TRANSFER をアンインストールする</b> .....	<b>5</b>
1.5.1 WINDOWS .....	5
1.5.2 MACOS .....	5
<b>2. TRANSFER を使用する</b> .....	<b>5</b>
<b>2.1 ELEKTRON 機器に TRANSFER を接続する</b> .....	<b>5</b>
<b>2.2 DROP ページ</b> .....	<b>6</b>
2.2.1 DROP ページを使用して ELEKTRON 機器にサンプルを転送する .....	6
2.2.2 SYSEX ファイルを転送する .....	7
<b>2.3 EXPLORE ページ</b> .....	<b>7</b>
2.3.1 EXPLORE ページを使用して ELEKTRON 機器にサンプルを転送する .....	8
2.3.2 EXPLORE ページを使用してコンピューターにサンプルを転送する .....	8
2.3.3 主なコントロール .....	9
2.3.4 右クリックメニュー .....	9
2.3.5 TRANSFERS ウィンドウの右クリックメニュー .....	9

## 1. はじめに

---

### 1.1 ELEKTRON TRANSFER について

Transfer は Mac OS X と Windows 用のアプリケーションです。Transfer を使用すると、コンピューターと Transfer 対応 Elektron 機器、または 2 台の Transfer 対応 Elektron 機器の間で、オーディオサンプルファイルを簡単に転送できます。

ドラッグアンドドロップで操作するシンプルなインターフェイスなので、ほぼすべての種類のオーディオファイルを非常に簡単に転送できます。複数のフォルダーまたは zip アーカイブの全体をアプリケーションに直接ドロップできます。フォルダー内のサンプルのフォルダー階層はすべて維持されます。

Transfer はさまざまなサンプル形式とサンプルレートをサポートしています。サンプルは適切なネイティブ形式に自動的に変換されてから Elektron 機器に転送されます。

また、Transfer を使用すると、お使いの機器からコンピューターにサンプルファイルのバックアップを簡単に作成できます。

ほかにも、Transfer を使用して、Elektron 機器に新しいオペレーティングシステムをインストールすることもできます。ただし、現在のところ、この機能は Transfer API をサポートする Elektron 機器でのみ使用できます。

Transfer は USB-MIDI プロトコルを通じて動作するので、コンピューターに追加のドライバーをインストールする必要はありません。

### 1.2 対応する Elektron 機器

Transfer は以下の Elektron 機器をサポートしています。

- OS 1.01 以上を搭載した Digitakt。
- OS 1.32 以上を搭載した Analog Rytm MKII。

お使いの機器の OS によって、Transfer の特定の機能が有効または無効になります。Transfer アプリケーションを最大限に活用できるよう、機器では常に最新の OS を実行するようにしてください。

Transfer の最新リリースはこちらに掲載されています : <http://www.elektron.se/support/transfer/>

Elektron 機器用の最新 OS はこちらに掲載されています : <http://www.elektron.co.se/support/>

### 1.3 システム要件

#### 1.3.1 コンピューターのオペレーティングシステム

Transfer 1.1 は以下のコンピューターオペレーティングシステムをサポートしています。

- MacOS 10.9 以上を搭載した 64 ビット Apple コンピューター。32 ビットアーキテクチャはサポートされていません。
- Windows 7 SP1 以上を搭載した PC。

#### 1.3.2 コンピューターのハードウェア要件

Elektron が推奨するハードウェア最小要件は以下のとおりです。

- 4 GB の RAM。
- インテル Core i5 CPU。

### 1.4 TRANSFER をインストールする

#### 1.4.1 WINDOWS

1. ダウンロードした ZIP ファイルを解凍します。
2. Elektron Transfer Installer.msi というファイルをクリックし、Transfer のインストーラーソフトウェアを実行します。
3. インストールプログラムのすべての指示に従います。

コンピューターに Transfer がインストールされ、デスクトップとスタートメニューの両方にショートカットが追加されます。

### 1.4.2 MAC OS X

1. ダウンロードした DMG ファイルを Finder からダブルクリックしてマウントします。
2. DMG の中にある Transfer.app ファイルを Applications フォルダーにドラッグアンドドロップします。
3. Finder から（またはデスクトップから）DMG ファイルを取り出してアンマウントします。

## 1.5 TRANSFER をアンインストールする

### 1.5.1 WINDOWS

[コントロールパネル]>[プログラム]>[プログラムと機能]にあるアンインストールオプションを使用して Transfer をアンインストールします。インストールしたすべてのファイルを消去するには、アンインストール後にコンピューターを再起動しなければならない場合があります。

### 1.5.2 MACOS

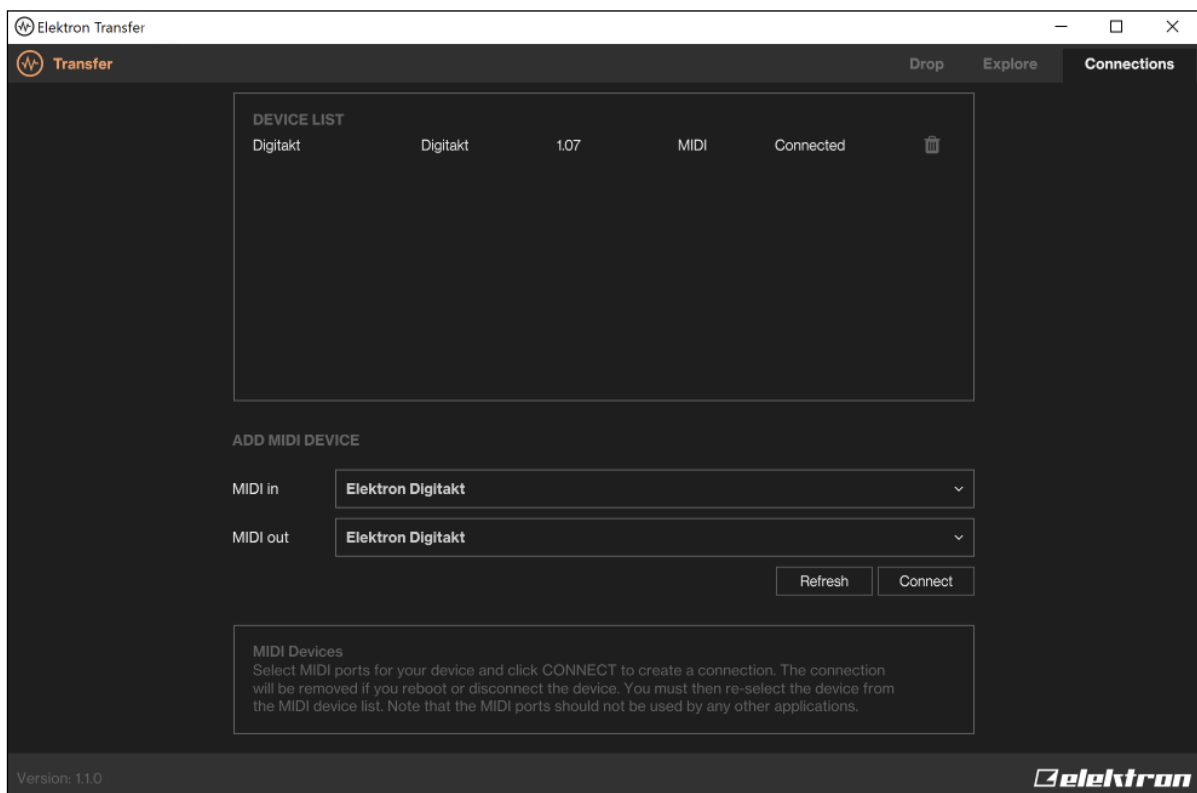
MacOS では、Applications フォルダーからゴミ箱に Transfer.app ファイルをドラッグアンドドロップするだけで、アプリケーションがアンインストールされます。

## 2. TRANSFER を使用する

### 2.1 ELEKTRON 機器に TRANSFER を接続する

USB ケーブルを使用して Elektron 機器をコンピューターに接続します。コンピューターの OS に USB MIDI ポートが表示されていることを確認してください。

1. Elektron Transfer アプリケーションを起動し、Transfer の CONNECTIONS ページで Elektron 機器用の USB MIDI ポートを選択します。
2. リストに Elektron 機器が表示されない場合は **REFRESH** を押します。
3. **CONNECT** を押して、機器との接続を作成します。



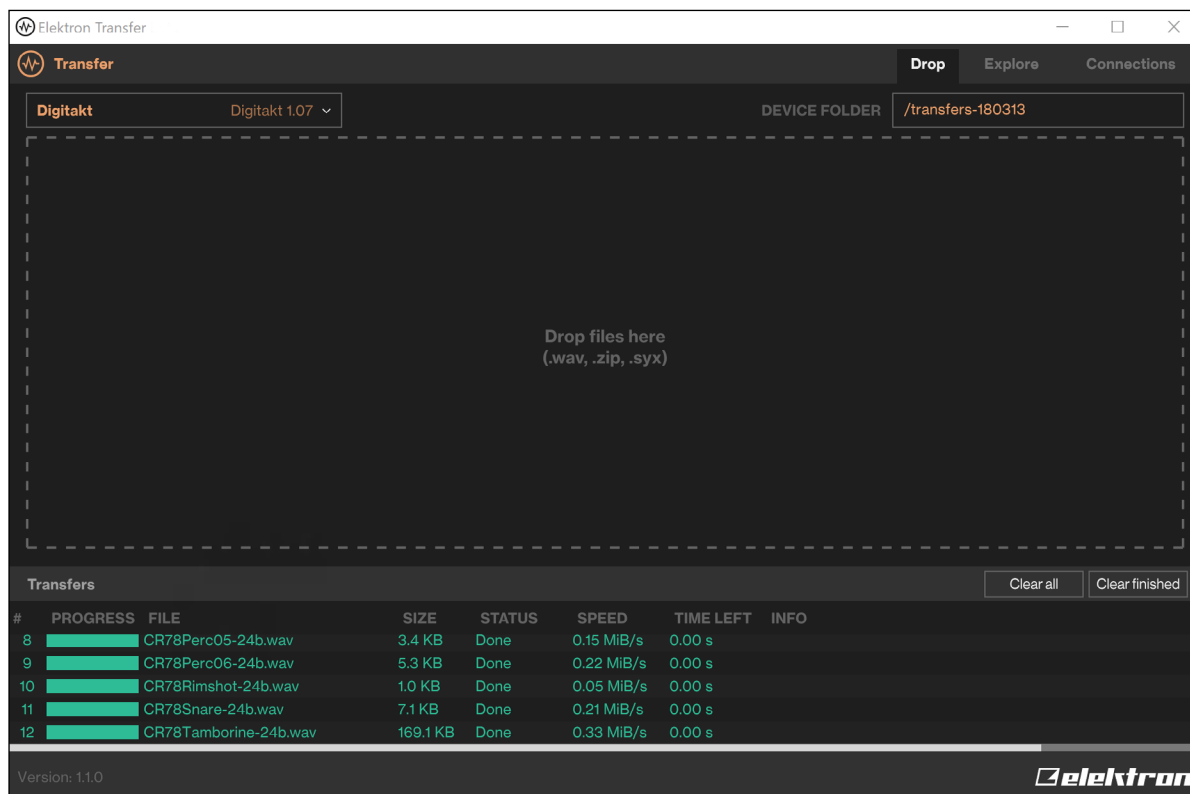
接続が確立すると、DROP ページが開きます。

## 2. TRANSFERを使用する



Elektron機器ではUSB MIDI ONLYモードを選択することをお勧めします。この設定は、GLOBAL SETTINGS > SYSTEM > USB CONFIGにあります。

### 2.2 DROP ページ



ここでは、サンプルファイル、フォルダー、または zip ファイルをドロップボックスに直接ドロップして、機器にファイルを転送できます。 .wav、.aiff、.mp3 など、さまざまなサンプル形式がサポートされています。ただし、お使いのコンピューターの OS と組み込みのコーデックによって、サポートされるファイル形式は多少異なります。

Drop ボックスにディレクトリ構造全体をドロップすると、対応するディレクトリ構造が機器に作成されます。 zip ファイルをドロップした場合でも同様です。 DROP ページの右上のセクションで、機器側の転送先フォルダーを変更できます。デフォルトの値は /transfers-YYMMDD です。つまり、デフォルトでは、今日の日付のフォルダーが作成されます。

ファイルが機器でサポートされているネイティブ形式（通常は 16bit/48kHz、モノラル）ではない場合、ファイルは高品質アルゴリズムを使用して自動的に変換およびリサンプルされます。以前に Transfer アプリケーション自身によってファイルのバックアップが作成されている場合、ファイルはビット精度で転送され、機器のプロジェクトとの互換性が保たれます。

アプリケーションウィンドウの下部には、現在アクティブになっている転送のリストがあります。ほかのファイルの転送中にドロップボックスセクションにファイルをドロップすると、自動的にジョブキューにファイルが追加されます。

#### 2.2.1 DROP ページを使用して ELEKTRON 機器にサンプルを転送する

1. コンピューターに Elektron 機器を USB 経由で接続します。
2. コンピューターで Transfer ソフトウェアを開きます。
3. Transfer の CONNECTIONS ページで、Elektron 機器に MIDI IN ポートと MIDI OUT ポートを設定します。
4. Transfer の DROP ページで、サンプルをドラッグアンドドロップします。自動的にサンプルが Elektron 機器に転送されます。

### 2.2.2 SYSEX ファイルを転送する

Transfer の DROP ページを使用して、Elektron 機器に SysEx ファイルを転送することもできます。現在のところ、この機能は Transfer API をサポートする機器でのみ使用できます（その他の機器は Elektron C6 を使用する必要があります）。SysEx ファイルの転送は、機器に OS またはサウンドバックをインストールする際に便利です。なお、新しい OS をインストールするには、マシンを OS Upgrade モードにする必要があります。

SysEx ファイルについては重要な制約が 1 つあります。Transfer では zip ファイルに組み込まれた SysEx ファイルは送信されません。サウンドバックの zip ファイル内にある SysEx ファイルは機器に自動的にインストールされるべきではないからです。このため、zip ファイルから SysEx ファイルを解凍し、別途 Transfer アプリケーションにドロップする必要があります。

マシンに SysEx ファイルを転送すると、通知なしにプロジェクトのデータが上書きされることがあるのでご注意ください。

## 2.3 EXPLORE ページ

EXPLORE ページは 2 列にわたるエクスプローラー画面です。片方の列には Elektron 機器の内容、もう片方の列にはコンピューターの内容が表示されます（または、両方の列に Elektron 機器が 1 台ずつ表示されます）。ここでは、ドラッグアンドドロップ操作だけで、コンピューターから機器に、または機器からコンピューターに、ファイルやディレクトリを転送することができます。コンピューターにあるサンプルをプレビューすることもできます。



EXPLORE ページを使用して、2 台の Elektron 機器間でファイルやフォルダーを転送することもできます。CONNECTIONS ページで両方の機器を接続してから、EXPLORE ページの左右のウィンドウの一番上で機器を選択します。



2 台の Elektron 機器間でのファイル転送は 2 段階にわたって行われます。まずはコンピューターにファイルが転送されます。その後、受信する機器にファイルが転送されます。Transfer は転送の両方の段階を処理しますが、この転送は 1 台の機器とコンピューターの間でのファイル送信よりも時間がかかります。

NAME	SIZE	NAME	SIZE	SAMPLES
CR78Guiro-24b.wav	229 KB	CR78Tamborine-24b	122.4 KB	62657
CR78Hat_C-24b.wav	3.4 KB	CR78Hat_C-24b	2.5 KB	1257
CR78Hat_O-24b.wav	46.0 KB	CR78Hat_O-24b	33.3 KB	17015
CR78Kick-24b.wav	14.7 KB	CR78Perc01-24b	2.0 KB	1000
CR78Perc01-24b.wav	2.8 KB	CR78Perc02-24b	2.3 KB	1138
CR78Perc02-24b.wav	31 KB	CR78Perc03-24b	4.0 KB	2041
CR78Perc03-24b.wav	5.6 KB	CR78Perc04-24b	15.4 KB	7840
CR78Perc04-24b.wav	21.2 KB	CR78Perc05-24b	2.5 KB	1251

#	PROGRESS	FILE	SIZE	STATUS	SPEED	TIME LEFT	INFO
8	<div style="width: 100%;"></div>	CR78Perc05-24b.wav	3.4 KB	Done	0.15 MiB/s	0.00 s	
9	<div style="width: 100%;"></div>	CR78Perc06-24b.wav	5.3 KB	Done	0.22 MiB/s	0.00 s	
10	<div style="width: 100%;"></div>	CR78Rimshot-24b.wav	1.0 KB	Done	0.05 MiB/s	0.00 s	
11	<div style="width: 100%;"></div>	CR78Snare-24b.wav	7.1 KB	Done	0.21 MiB/s	0.00 s	
12	<div style="width: 100%;"></div>	CR78Tamborine-24b.wav	169.1 KB	Done	0.33 MiB/s	0.00 s	

## 2. TRANSFERを使用する

---

### 2.3.1 EXPLORE ページを使用して ELEKTRON 機器にサンプルを転送する

EXPLORE ページを使用してコンピューターから Elektron 機器にサンプルを転送できます。

1. コンピューターに Elektron 機器を USB 経由で接続します。
2. コンピューターで Transfer ソフトウェアを開き、Transfer の CONNECTIONS ページで機器用の USB MIDI ポートを選択します。
3. Transfer で EXPLORE をクリックして、EXPLORE ページを表示します。
4. EXPLORE ページの左側にある MY COMPUTER の下で、転送するサンプルまたはフォルダーに移動します。
5. \* 機器名 \* (Digitakt や Analog Rytm など) の下で指定したフォルダーに、サンプルまたはフォルダーをドラッグアンドドロップします。

### 2.3.2 EXPLORE ページを使用してコンピューターにサンプルを転送する

Elektron 機器からコンピューターにサンプルを転送することもできます。

1. コンピューターに Elektron 機器を USB 経由で接続します。
2. コンピューターで Transfer ソフトウェアを開き、Transfer の CONNECTIONS ページで機器用の USB MIDI ポートを選択します。
3. Transfer で EXPLORE をクリックして、EXPLORE ページを表示します。
4. EXPLORE ページの右側にある \* 機器名 \* の下で、転送するサンプルまたはフォルダーに移動します。
5. MY COMPUTER の下で指定したフォルダーに、サンプルまたはフォルダーをドラッグアンドドロップします。




Elektron 機器からコンピューターに転送されたサンプルはビット精度で .wav ファイルとして保存されます。このため、機器にサンプルを戻した場合も、プロジェクトとの互換性は完全に保たれます。機器のプロジェクトとの互換性を確保するには、コンピューターの .wav ファイルに変更を加えないでください。

ファイルを編集するとハッシュ値が一致なくなり、Elektron 機器でプロジェクトにファイルをロードできなくなります。ただし、コンピューターと機器の両方でファイル名を変更したりファイルを移動したりしても、プロジェクトとの互換性が失われることはありません。

コンピューター側のファイルブラウザでオーディオファイルを選択すると、プレビューパネルが表示されます。ここでは、システムのデフォルトのオーディオインターフェイスを使用してオーディオファイルをプレビューできます。また、ファイルの概要も表示されます。

### 2.3.3 主なコントロール

MY COMPUTER と \* 機器名 \* の下にはそれぞれ 3 つのボタンがあります。

- **UP**  フォルダー階層内を 1 レベル上に移動します。
- **CREATE FOLDER**  現在のディレクトリにフォルダーを作成します。
- **REFRESH**  ファイルとフォルダーを現在の状態に更新します。

### 2.3.4 右クリックメニュー

EXPLORE ページのメインウィンドウでファイルまたはフォルダーを右クリックすると、以下のオプションを備えたメニューが表示されます。

- **RENAME** ファイルまたはフォルダーの名前を変更します。
- **DELETE** ファイルまたはフォルダーを削除します。
- **CREATE FOLDER** 現在のディレクトリにフォルダーを作成します。
- **REFRESH** ファイルまたはフォルダーを現在の状態に更新します。
- **REVEAL IN EXPLORER** エクスプローラーでファイルまたはフォルダーの場所を開きます。このオプションは MY COMPUTER の下でのみ使用できます。



### 2.3.5 TRANSFERS ウィンドウの右クリックメニュー

TRANSFERS ウィンドウでファイルを右クリックすると、以下のオプションを備えたメニューが表示されます。

- **REMOVE** TRANSFERS ウィンドウからファイルを削除します。
- **CANCEL** ファイルの転送を中断しキャンセルします。
- **RETRY** 転送が停止またはキャンセルされたファイルの送信を再試行します。
- **AUTO-SCROLL** このオプションを選択すると、転送中のファイルが TRANSFERS ウィンドウに表示されます。

